

令和7年
2025年

5月19日
月曜日

第11713号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



INTERROVICがショーッキング開催……P4

注目のヘッドライン

「畜産の生産基盤維持と消費はセットで、海外への訴求も重要」—農水省・松本平畜産局インタビュー①

…詳細はP2

物流と営業拠点の再整備に向け戦略的に投資、スターゼンの決算会見で横田社長

…詳細はP3

▶「畜産の生産基盤維持と消費はセットで、海外への訴求も重要」—農水省・松本平畜産局インタビュー①……………P2

▶物流と営業拠点の再整備に向け戦略的に投資、スターゼンの決算会見で横田社長……………P3

▶INTERROVICがミシュランシェフによるスペイン産羊肉のショーッキング、セミナー開催……………P4

▶杉本匡彌取締役副社長が就任、杉本達哉代表取締役社長は代表取締役会長に就任……………P5

▶日本食肉流通センターが6月に研修会物流2024年問題への業界の対応テーマに……P5

▶父の日に牛肉を!「とれたてねっと 父の日キャンペーン」ブランド牛ブロックを販売…P5

▶英国が米国と貿易協定合意、EUは追加対米報復措置を発表……………P6

▶【東京食肉卸売市場】交雑牛はもちあい、豚は強もちあい……………P7

▶【大阪市食肉卸売市場】牛当面は伸び悩む、豚依然高値推移が続く……………P7

▶[資料]日本食肉流通センター週間市況〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉……………P8

▶[資料]日本食肉流通センター週間市況〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉……………P9

▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]16日……P10

▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]16日…P11



多岐にわたる情報を網羅 食肉通信社

銘柄牛肉 ガイドブック



25 380
ブランド
以上 B5判/258頁
定価2,500円

新刊

「畜産の生産基盤維持と消費はセットで、海外への訴求も重要」 —農水省・松本平畜産局長インタビュー①

農林水産省はこのほど、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針(酪肉近)」を改定。昨年、25年ぶりに改正された食料・農業・農村基本法(基本法)に盛り込まれた「食料安全保障の確立」なども酪肉近の論点の一つとして議論されてきた。国内の人口減少、資材やエネルギー価格の高騰などの課題に対し、「畜産の生産基盤の維持と消費の政策は両輪で取り組む必要がある」と話す松本平畜産局長(写真)に、新たな酪肉近への思い、また輸出の期待感などをきいた。

—2024年7月に畜産局長に就任して、もうじき1年が経とうとしています。振り返っていかがですか。

着任時点、円安基調で、畜種共通で影響が出る飼料コストは厳しい状況であった。また、物価上昇に対して賃金の上昇が追いつかず、わが国の強みである和牛肉の需要は減衰し、枝肉価格や子牛価格が軟調に推移していた。飼料関係では昨年、「配合飼料価格安定制度のあり方に関する検討会」を開催し、畜産農家が安心して経営に臨めるよう、今後の対策について議論した。和牛肉の需要関係では、消費段階での荷動きが悪いと枝肉価格が低迷し、肥育経営の子牛の購買意欲が減退するため、出口対策である消費拡大対策を充実するよう、取り組んできた。その結果、枝肉価格や子牛価格に関して、皆さんが少しずつ明るい顔ができるようになったと思う。この他、家畜伝染病において、特に鳥インフルエンザは秋冬以降、例年よりも早く発生が確認された。さらに、1月には養鶏集中地域での連続発生がみられたことから、消費・安全局とも連携し、経営安定対策などを示すことで、早期通報の徹底等も呼びかけてきた。

—このたび、新たな酪肉近が答申されましたが、これについての受け止めをおきかせください。また、今回決定した生産数量目標などに対する思いをおきかせください。

前回の酪肉近の策定は令和2年。当時、国内で新型コロナウイルスのパンデミックが起き、同年4月には緊急事態宣言が出された。その時と比較すると、社会経済状況は大きく変化しており、前提条件が変わっていることを皆さんにはまず理解いただくことが大事



だと思っている。

令和6年5月に改正成立した、食料・農業・農村基本法に盛り込まれた「食料安全保障の確保」や「環境と調和のとれた食料システムの確保」などは、新たな酪肉近と食料・農業・農村基本計画においても重要なテーマであるため、それをどのように示していくかが論点の一つであった。

その中で、畜産の生産基盤の維持と消費はセットで考えていく必要があるが、わが国の人口は年々減少する中、ターゲットを国内だけでみるのではなく、人口が増加傾向で、消費の余地がある国や地域に対して、方向性を定める観点は必要である。多様化する消費者ニーズをしっかりと視野に入れ、牛肉や豚肉、鶏肉それぞれ畜種ごとの消費動向および海外の方にどれだけ訴求できるかを検討した上で、数量を設定させていただいた。

—和牛の短期肥育を推進させるために取り組むべき課題について。

短期肥育は経営のコストを削減するだけでなく、消費者ニーズを考えた上でサシをどのような状態にするかなど、生産者の選択肢を広げていくことが最大の目的である。一方で、自分たちの思いだけで出荷した結果、流通や小売りが求めるものと差が出てしまつては良くない。そのため、卸業者など流通面での理解が重要になってくる。いくつかある選択肢の中から、短期肥育経営で出荷された肉を選んでもらえるような理解を得る努力は行政としてトライするからには、予算事業の支援も含めて取り組んでいきたい。(連載続く)

物流と営業拠点の再整備に向け戦略的に投資 スターゼンの決算会見で横田社長

スターゼンが15日に開催した決算記者会見での横田和彦社長の説明の続きはおおむね次の通り。

中期経営計画のうち、国内事業改革の進捗^{しんちよく}については、まず物流と営業拠点の再整備に向け戦略的な投資を進めている。物流拠点の最適化では神奈川県川崎市に東扇島センターを建設しており、2026年5月末に竣工予定だ。営業拠点の再整備では兵庫県伊丹市に伊丹営業センターを建設しており、こちらは25年11月末に竣工予定。

高付加価値商品への取り組みでは、マーケットインの発想で消費者ニーズやライフスタイルの変化に合わせた商品を開発している。カテゴリ別に部門横断型でブランディングチームを作り、取り組んでいる。「DELI BURG」シリーズは家庭での手作りハンバーグを目指しリニューアルした。ホルモンや内臓肉の付加価値化ではと畜場を併設した工場であるメリットを生かし、新鮮な原料を手当てできる。食シーンの新たな提案を進めており、「酒味時間」と名付けてお客さまと共同で売り場づくりを進めている。こうしたことは、「ライフスタイル提案企業」への第1歩として取り組んでいる。

DX、業務プロセス改革では、基幹システムの稼働により物流業界の課題解決にも寄与する。「Zeusプロジェクト」といい、25年6月稼働予定でまず国産鶏肉事業の新基幹システムを稼働する。26年には貿易(輸入)、27年に貿易(輸出)、28年に加工食品、28年に食肉加工と進める。しかし、これらを生かすのは“人”であり、人への投資を当社の成長エンジンとして従業員のエンゲージメントを図る。こうした人的資本への投資を拡充していく。考え方は「人は大切な資産」「投資を通じて企業価値向上と成長につなげる」というもの。学ぶ機会(リスクリング)の提供では幹部候補向け研修強化、全社員対象のオンライン学習を導入し、次世代幹部社員育成にも注力する。

次に資本収益性向上への取り組みについて説明する。三つの観点から取り組んでおり、一つは収益性向上、次いで資産効率性向上、三つ目が財務レバレッジである。収益性向上では海外事業の利益最大化、

高付加価値商品の取り組み、DX・業務プロセス改革だ。資産効率性向上では効率的な資産への入れ替え、政策保有株の圧縮を目的とした売り出しを行った。財務レバレッジでは株主還元^{しゅしゆくげん}の拡充、戦略的な財務運営を行う。現状のROEは14・6%で、目標の8%を上回って推移しており、PBRは0・17と目標の1倍を下回っているが、引き続き改善を継続する。同時にIR強化にも注力する。

株主優待制度については・株式の売り出し・株式分割・株主優待の拡充——の三つの柱で取り組む。昨年4月に経営理念を刷新し、その実現に向け種々の施策に取り組んでいる。その概要は次の通り。

経営理念をより多くの株主に共感してもらうため、同社のことをまず「知ってもらい」、同社が製造する商品を「好きになってもらい」、同社の商品(食)で「感動してもらう」ことをコンセプトに、株主優待制度を拡充した。

【知ってもらいたい! = マックカード1千円分(200株以上)】 スターゼングループは、日本マクドナルド社の銀座1号店から同社向けにビーフパティを供給している。スターゼンの商品やビジネスを身近に感じて、知ってもらうために、マックカードを株主優待品に追加した。

【好きになってもらいたい! = 同社商品3千円相当(600株以上) 同社商品6千円相当(1千株以上)】

スターゼングループは、昨年4月に新たな経営理念を掲げるとともに、同理念を実現するためのブランド・ビジョンを策定した。株主にスターゼンならではのミートギフトや加工品ギフトを食べてもらい、好きになってもらいたいという思いを込め、複数の商品を選定した。

【感動してもらいたい! = 同社商品1万2千円相当(6千株以上)】 スターゼングループは、飼料や飼育環境にこだわり、おいしさを追求した安全・安心かつ最高品質の食肉を製造販売している。肉のプロが自信を持って選定する商品で株主に感動を届けられることを願っている。(連載終わり)

INTEROVIC がミシュランシェフによるスペイン産羊肉の ショーッキング、セミナー開催

スペイン羊肉山羊肉生産者協 (INTEROVIC) は15日、東京都内で食肉事業者などを対象に、スペイン産羊肉のショーッキング、セミナーおよびテイastingレセプションを開催した。同イベントは、EUが展開する「ENJOY IT閑馬s FROM EUROPE」“Exclusive Lamb & Goat from Europe (ヨーロッパの最高品質羊肉)”キャンペーンにおける2025年度プログラムの一環として実施。第一部では、ミシュラン星付きシェフ、ミゲル・アンヘル氏がスペイン産羊肉を使った料理実演を行うほか、INTEROVICのマーケティング責任者のベアトリス・カサレス氏がスペイン産羊肉産業の概要、今後のプロモーション戦略などについて説明を行った。第二部のレセプションでは、ショーッキングで紹介した料理が参加者に振る舞われた。

ショーッキングでは、月齢や部位の異なる三つのラム肉を使い分け、ベビーラムを使ったサンドイッチ、スペインの伝統料理であるカネロニ、サッカーラムを低温調理したもの、月齢が高いラム肉のラックの焼き料理を紹介した。

アンヘル氏は「スペイン産のラム肉は、品質が非常に高く、クセがあまりなく、食べやすい。また、ラムの月齢によって、肉質やそれにあつた料理も違うため、シーンによって使い分けながら消費している。このイベントを通して、汎用性の高い食材であることが伝わっていると嬉しい」と述べた。

続いてサガレス氏は、スペイン産羊肉および山羊肉産業などを説明。ヨーロッパにおいて、羊や山羊の生産は重要な産業で、その飼養頭数は、羊が6000万頭、山羊が1千万頭。また、羊肉の年間の生産量は57万6千t、このうち輸出量は15万7911tとなっている。EUの中でもスペインは重要な位置を占め、年間12万tが羊肉生産され、5万tが輸出に充てられている。この産業を支えているのが、約15万軒の家族経営の小規模農家である。

スペインでは厳しい品質管理システムであるヨーロッパの生産モデルを採用し、これは、「動物福祉」「環境保護」「トレーサビリティ管理」の三つの観点から構築される生産システムだ。同国では、成長ホル



モンや抗生物質の使用は禁じられており、安心を与えるものである。また、地中海沿岸の気候により、若齢でのと畜が可能で、他国との優位性の一つとなる。このほか、スペイン産の羊はグレインフェッド(穀物肥育)のため、特有の臭みがなく、軟らかい肉質だ。

スペインのラム肉は、月齢ごとに「ベビーラム(1・5カ月未満)」「サッカーラム(1・5~3カ月未満)」「ラム肉(3~12カ月未満)」「マトン12カ月超過」の四つに分類される。このうち、「ベビーラム」は、母乳のみで肥育、肉質は白色で脂肪もほとんどない。「サッカーラム」は母乳と牧草で肥育され、肉質はピンク色、少量の脂肪が特長だ。

INTEROVICでは、展示会への出展やセミナー、また現地視察などを今後も進めていく。

カサレス氏は「日本の皆さんは、値段だけでなく、質の高いものを理解して、認めてくれている市場だと思っている。スペイン産ラム肉はプレミアム肉であること

をアピールしていきたい。長い目でみて日本での認知を上げていけたらと思っている。まずは、プロの方に良い商材であることを認識してもらうことが大事。そうすることで、そこから先の消費者につながると思うので、段階的にアピールしていく」と期待感を示した。

杉本食肉産業、代表取締役社長に杉本匡彌取締役副社長が就任 杉本達哉代表取締役社長は代表取締役会長に就任

杉本食肉産業は4月1日付で杉本達哉代表取締役社長が退任し代表取締役会長に就任、それに伴い杉本匡彌取締役副社長が代表取締役社長に就任す

ると発表した。また、杉本豊繁代表取締役会長は3月31日付で退任し取締役に就任した。

日本食肉流通センターが6月に研修会 物流 2024 年問題への業界の対応テーマに

公益財団法人日本食肉流通センターは6月5日、川崎と大阪の2会場で、令和7年度第1回研修会を実施する。川崎会場は川崎区東扇島の同センターG棟3F大会議室。大阪会場は住之江区南港南の同センター大阪センター南館管理棟2階セミナー室で、川崎会場の講演をスクリーンで視聴する。また、ZOOMでの参加も可能。

講演内容は「物流2024年問題への対応—食肉加工業界が目指すもの—」（講師：日本ハム・ソーセージ工業協同組合・強谷雅彦専務理事）、牛豚コ

マーシャル規格の規格書・動画のリニューアルについて（日本食肉流通センター・三田洋子情報部調査役）、「物価上昇下の食肉販売と物流2024年問題への業界の取組を迫る」（同・安藤松太郎情報部長）。時間は14～16時10分。

希望者はセンターHPから「参加申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、Excelの生データを5月29日16時までにセンター担当者 (sakonji@jmtc.or.jp、業務部) に送信する。詳しい問い合わせは同センター業務部、電話044 (266) 1172まで。

父の日に牛肉を！「とれたてねっと 父の日キャンペーン」 ブランド牛ブロックを販売

Core-Business(株) (東京都中野区) は、産地直送お取り寄せ通販「とれたてねっと」で、父の日に向けた特別キャンペーン「とれたてねっと父の日キャンペーン2025」を、23日～6月16日に実施する。

今回のキャンペーンでは、「とれたてねっと」利用者を対象に独自アンケートを実施し、父の日に贈りたい商品・もらいたい商品について、女性と男性それぞれの視点から意見を集めた。その結果、女性が父の日に送りたい上位3商品は「A5ランク近江牛モモ・バラセット(焼肉用)」「A5ランク葉山牛焼肉詰合せ

500g」「足柄牛上肩ロースすき焼き500g」。男性が父の日にもらいたい上位3商品は「A5ランク仙台牛ブロック(ロース)2・0kg」「A5ランク葉山牛焼肉詰合せ500g」「A5ランク松阪牛サーロインステーキ」となった。

父の日限定商品として、商品支持を集めた上位各3商品のブランド牛ブロック肉と「アウトドアスパイスほりにし」のコラボ調味料セットを販売、キャンペーン期間中に限り最大20%OFFで提供する。

英国が米国と貿易協定合意、EUは追加対米報復措置を発表

英国政府は5月9日、米国との新たな貿易協定の締結に合意したと発表した。関税政策をめぐる米国と各国との交渉が続く中、英国が初めて合意を発表した国となった。

一方、EUの欧州委員会は5月8日、米国との交渉が不調に終わり追加関税が撤廃されない場合、報復措置として新たに農産物や工業製品などへの報復関税を適用すると発表した。

英両政府の発表によると、今回の合意により、英国から米国に輸出される鉄鋼・アルミニウム製品や自動車への追加関税が撤廃もしくは引き下げられる一方、米国から英国に輸出されるエタノールに14億リットルの無関税枠が設定される。また、農産物の非関税障壁の撤廃に関する協議を進めていくとされた。

加えて、今回の合意には、両国が設定している牛肉の関税割当について、英国が設定する米国産牛肉1000tの関税割当(関税率20%)を無税とし、新たに1万3000tの関税割当(無税)追加が盛り込まれた。また、米国が設定する英国を含む複数国が利用できる関税割当6万5005tのうち、1万3千t英国に配分するとされた。

両政府は、米国産の農産物などの関税の引き下げについて可能な限り早急に交渉を進めるとしている。英国政府によると、米国産農産物の輸入に対して英国の食品安全基準が損なわれることはないとしており、特定の成長ホルモン類を投与した牛由来の米国産牛肉は除外されているとみられる。

なお、米国がすべての国に課した10%の関税は維持される。

全英農業者組合(NFU)は声明の中で、牛肉の米国市場へのアクセスが強化されたことなどを評価する一方、無税でのエタノールの輸入により、国内のバイオ燃料需給が緩和し、バイオ燃料の原料生産者の収益性悪化を懸念するとした。

英国食肉加工協会(BMPA)は、米国産牛肉の無税枠の設定・拡大について、米国から主にロイン系などの高級部位の輸入が増える可能性を指摘した。同協会によると、追加の無税枠1万3千tは英国が生産する高級部位の約30%に相

当することから、同枠の全量が使用された場合、英国の生産者にとって厳しい競争を強いられるとして、政府に対して関税割当数量などを慎重に設定するよう求めた。

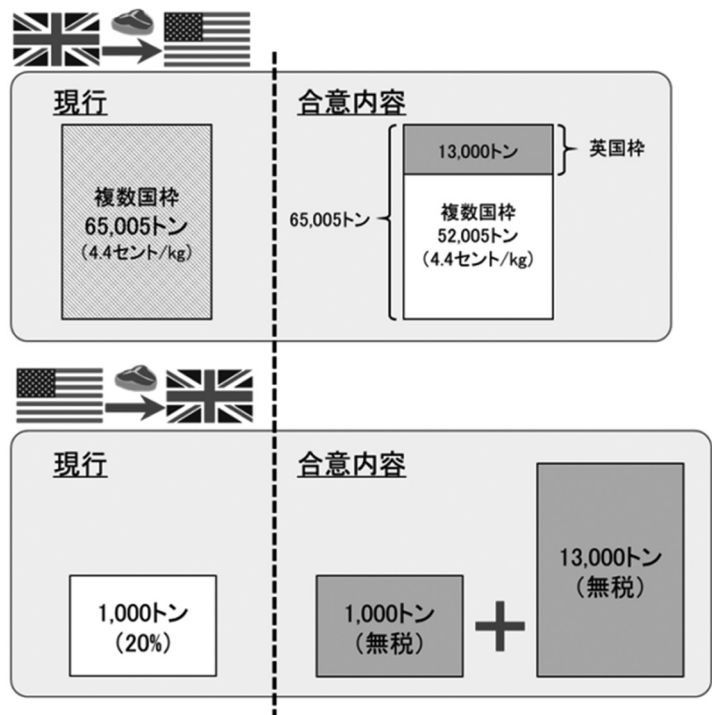
EUは4月14日、米国が3月から開始した鉄鋼・アルミニウム製品に対する関税強化の対抗措置として、米国からの輸入製品に対する報復関税を課すと発表しており、5月8日の発表では今後の交渉次第で950億ユーロ(15兆5487億円:1ユーロ=163.67円(注3))にのぼる追加の報復関税措置を取ると表明した。

新たに公表された追加報復関税の対象候補となる製品の中には、豚肉やハムなどの食肉加工品、大豆かすなどが含まれる。一方、乳製品については前回に引き続き対象外とされた。

欧州委員会によると、6月10日までのパブリックコメントに基づき最終的な追加の報復関税の対象を決定するとされている。

また、欧州委員会は米国の一連の関税強化についてWTOへの提訴に向けて調整を進めていることも明らかにした。(農畜産業振興機構)

米英両国の牛肉関税割当に関する合意内容



資料: 米英両国の発表を基に、機構作成
注: 2024年の米国の英国産牛肉輸入量は211トン、英国の米国産牛肉輸入量は158トン。

【東京食肉卸売市場】交雑牛はもちあい、豚は強もちあい

〔牛〕前週は和牛、交雑牛ともに強もちあい。和牛は全体的に連休前の相場を上回って推移しており、去勢4等級は2300円台で推移した。また、落ち着くかと思われた交雑牛2等級は再び引き合いが強まり去勢では50円ほど上げた。

引き合いは切り落としやスネなどスソ物が中心となっており、ロイン系やヒレは鈍い。しかし、在庫はそれほど余剰感がなく、焼き肉材は動いており、一部ではカタバラやモモは品薄も聞かれた。

今週、東京市場の上場は平均390頭ほどが計画されている。和牛去勢A5は2400～2500円、A4は2200～2300円、A3は2100～2200円の弱もちあい、交雑牛去勢はB4が1600～1700円、B3が1600～1700円のもちあいが予想される。

〔豚〕前週の枝肉相場は上昇傾向となり、700円を超える価格をつけている西日本に比べるとまだ上が

りきつてはいないものの、上物価格600円台半ばから後半の展開となった。出荷頭数自体が大幅に減っているわけではないが、関東でも夏日を記録するなど、例年と同じく気温の上昇とともに相場は上昇基調となっている。

一方、諸物価の高騰で引き続き消費者の節約志向は強く、末端需要はより安価な畜種、部位へのニーズが高まる中で、日常使いの切り落としなどが荷動きの中心。関税や為替の動向も含めて、輸入物については不確実性が高いものの、国内の出荷頭数が減少サイクルに入り、豚価が上昇傾向となる時期となってきた中で、末端では輸入物へシフトする動きも出てくるか。

需要には一服感が出る時期ではあるが、今週も強もちあいか。

【大阪市食肉卸売市場】牛当面は伸び悩む、豚依然高値推移が続く

〔牛〕消費を促す大型連休が明け、需要も一服。補充仕入れも一段落したことから、和牛相場は軟調に転じている。この先も大きなイベントはなく、父の日需要を6月に控えているのみ。

父の日はステーキ販売を喚起するのに最適なタイミングといえることから、注力していない事業者は今からでも注力しておきたいイベントといえるだろう。

万博でインバウンド需要が高まっているとはいえ、

相場を引き上げるまでには至っていない。しばらく和牛相場は伸び悩むだろう。交雑牛は和牛の代替需要で底堅く推移する見通しだ。

〔豚〕牛肉とは対照的に高値が続く豚枝肉相場。国産豚肉の供給不足に加えて輸入ポークの手当て難が続いており、大阪市場に限らず国産豚肉の堅調な相場はこの先も続きそうだ。

無印良品、インドのスパイシーカレー 2 種を新発売

無印良品を展開する(株)良品計画(東京都文京区、清水智社長)は、インドのスパイシーカレー2種を、21日から、全国の同店舗およびネットストアで順次発売する。

今回は、インドで学んだ調理方法を生かし、具材のおいしさにこだわったカレー「ローストチキンのスパイシーカレー」(税込み350円)と「ローストプラウンのスパイシーカレー」(350円)の2種を発売する。



[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年4月27日～5月3日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
		和牛チルド「4等級」	首都圏	3,510	3,821	4,700		4,052	3,780	近畿圏	3,507	3,888
		3,402	3,600	3,886	3,627	7,501		3,597	3,834	4,158	3,807	13,693
		2,322	2,376	3,726	2,718	2,134		-	-	-	-	504
		3,942	3,942	3,942	3,942	4,652		-	-	-	-	-
		8,100	9,828	10,527	9,650	1,317		8,856	9,202	9,797	9,414	1,064
		5,400	5,886	6,480	5,952	1,368		5,400	5,832	5,994	5,752	4,047
		6,000	6,011	7,344	6,102	1,112		-	-	-	-	-
		1,836	2,160	2,830	2,214	13,725		2,821	3,456	4,639	3,636	13,968
		3,888	4,215	4,671	4,272	1,546		3,672	4,169	4,320	3,983	3,056
		4,104	4,251	4,428	4,255	3,051		3,672	4,169	4,320	4,099	3,062
		4,098	4,158	4,428	4,231	2,888		3,672	4,169	4,320	4,137	2,712
		3,240	3,564	4,400	3,687	2,091		3,672	3,672	3,672	3,672	1,941
		1,944	2,052	2,322	2,096	1,764		1,998	2,055	2,160	2,071	2,099
		3,941	4,056	4,400	4,081	9,996		3,564	3,774	3,942	3,769	15,837
		3,460	3,809	4,572	4,020	29,179		3,510	3,672	4,320	3,807	10,744
	重量合計					86,104						79,231
	中京圏	3,564	3,564	4,104	3,615	1,151	九州圏	3,510	3,780	4,428	3,956	1,045
		3,132	3,348	3,672	3,392	1,824		3,100	3,348	3,456	3,326	2,419
		2,700	3,024	3,046	2,964	1,647		-	-	-	-	352
		-	-	-	-	655		-	-	-	-	173
		5,292	5,940	6,696	5,780	1,046		-	-	-	-	171
		1,836	1,998	3,564	2,300	2,858		1,836	3,649	4,158	3,229	2,906
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	557
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	733
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	355
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	651
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	842
		-	-	-	-	783		-	-	-	-	-
		3,649	3,649	3,888	3,694	4,819		3,294	3,420	3,704	3,466	12,091
	重量合計					14,783						22,295

(令和7年4月27日～5月3日)

交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,786	3,054	3,650	3,122	7,545	近畿圏	2,641	2,919	3,348	2,983	18,203
		カタ	2,507	2,847	3,073	2,781	7,046		2,408	2,534	2,645	2,533	8,429
		カタバラ	2,305	3,142	3,240	2,881	2,129		1,404	1,521	2,808	1,719	4,715
		ヒレ	5,940	6,126	6,480	6,171	3,552		6,480	6,804	7,020	6,786	3,199
		ロイン	4,510	4,860	5,400	4,985	2,330		4,133	4,761	4,860	4,662	7,507
		トモバラ	1,512	2,643	3,348	2,527	10,983		1,512	1,620	2,692	1,781	12,371
		ウチモモ	2,454	2,592	2,808	2,570	4,045		2,376	2,484	2,646	2,489	5,360
		シントマ	2,430	2,646	2,970	2,695	6,442		2,376	2,592	2,786	2,564	6,819
		ランイチ	2,584	2,808	2,970	2,781	3,227		2,538	2,623	2,700	2,632	7,772
		ソトモモ	2,273	2,322	2,323	2,321	2,466		2,160	2,407	2,542	2,390	5,309
		スネ	1,566	1,620	1,706	1,629	2,452		1,512	1,566	1,692	1,579	4,869
モモセット	-	-	-	-	-	2,484	2,570	2,905	2,662	7,091			
セット	2,651	2,939	3,434	3,026	19,348	3,024	3,132	3,456	3,163	80,900			
	重量合計					71,565						172,544	

乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,246	2,808	3,444	2,822	4,074	近畿圏	2,284	2,390	3,024	2,502	6,932	
		カタ	-	-	-	-	740		1,728	1,890	2,084	1,852	5,333	
		カタバラ	-	-	-	-	374		-	-	-	-	-	-
		三角バラ	-	-	-	-	-		2,390	2,678	3,510	2,753	1,854	
		ブリスケット	-	-	-	-	-		1,220	1,296	1,404	1,299	3,387	
		ヒレ	4,968	5,165	5,616	5,253	1,498		4,860	5,465	5,940	5,458	3,070	
		ロイン	3,095	3,333	3,521	3,321	1,487		3,175	3,240	3,240	3,221	5,371	
		トモバラ	1,404	2,679	3,249	2,601	5,688		1,188	1,404	2,235	1,475	8,262	
		ウチモモ	2,093	2,155	2,250	2,163	2,117		1,998	1,998	2,106	2,008	5,315	
		シントマ	1,944	2,230	2,250	2,150	1,431		1,755	1,890	1,998	1,890	1,777	
		ランイチ	2,052	2,268	2,522	2,255	2,236		1,831	1,944	2,052	1,953	2,767	
		ソトモモ	-	-	-	-	764		1,890	1,998	2,376	2,001	1,874	
		スネ	1,501	1,512	1,674	1,510	1,801		1,507	1,566	2,084	1,644	3,947	
セット	2,162	2,529	2,529	2,413	8,348	1,781	1,967	1,979	1,915	35,505				
	重量合計					30,558						85,394		

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年5月4日～5月10日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

和牛チルド「4等級」		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		
和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	3,218	4,187	4,594	3,953	3,914	近畿圏	3,456	3,888	4,212	3,889	6,847	
		カタ	3,194	3,510	3,886	3,505	7,677		3,240	3,564	4,028	3,602	5,837	
		カタバラ	2,160	2,160	4,089	2,668	1,202		2,319	2,850	2,850	2,735	1,330	
		マエセット	-	-	-	-	-		511	-	-	-	-	-
		ヒレ	-	-	-	-	-		918	8,640	9,180	9,788	9,162	2,015
		ロイン	5,076	5,400	6,372	5,736	1,450		5,400	5,754	5,962	5,695	3,095	
		ロインセット	-	-	-	-	-		920	-	-	-	-	-
		トモバラ	1,836	1,992	2,343	2,070	7,759		1,944	3,056	3,564	2,900	8,115	
		ウチモモ	3,456	4,012	4,212	3,840	2,319		3,672	4,169	4,698	4,054	1,874	
		シントマ	4,158	4,212	4,370	4,231	3,258		3,672	4,169	4,320	4,059	1,470	
		ランイチ	4,104	4,212	4,456	4,276	2,055		3,888	4,173	4,320	4,155	1,503	
		ソトモモ	3,240	3,423	4,400	3,497	2,278		3,524	4,104	5,400	3,960	1,004	
		スネ	1,944	1,998	2,138	1,998	3,472		1,998	2,040	2,182	2,074	2,919	
		モモセット	4,174	4,269	4,357	4,276	16,334		3,588	3,838	3,942	3,811	12,568	
セット	4,047	4,277	5,034	4,400	13,189	3,456	3,996	4,379	3,967	7,097				
重量合計						67,256						55,674		
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	-	-	-	-	782	九州圏	-	-	-	-	870	
		カタ	3,240	3,564	3,672	3,465	1,198		3,348	3,402	3,564	3,387	1,084	
		カタバラ	-	-	-	-	930		-	-	-	-	310	
		ヒレ	-	-	-	-	289		-	-	-	-	78	
		ロイン	-	-	-	-	954		-	-	-	-	184	
		トモバラ	1,836	1,944	3,240	2,306	1,339		-	-	-	-	802	
		ウチモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	330	
		シントマ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	277	
		ランイチ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	254	
		ソトモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	60	
		スネ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	770	
		モモセット	3,456	3,672	3,888	3,648	1,108		-	-	-	-	-	
		セット	3,637	3,637	3,637	3,637	4,050		3,510	3,757	3,920	3,697	3,104	
		重量合計							10,650					

(令和7年5月4日～5月10日)

交雑牛チルド「3等級」		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量	
交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,786	2,953	3,132	2,944	3,983	近畿圏	2,808	2,973	3,191	2,988	7,254
		カタ	2,376	2,686	3,060	2,730	5,397		2,376	2,560	2,700	2,523	9,419
		カタバラ	2,179	2,942	3,186	2,846	1,748		1,483	1,678	2,389	1,811	3,083
		ヒレ	5,940	6,059	6,750	6,226	1,899		5,940	6,296	6,804	6,390	2,675
		ロイン	4,482	4,590	4,590	4,571	4,060		4,536	4,710	4,860	4,692	6,405
		トモバラ	2,484	3,100	3,780	3,015	5,991		1,620	2,057	2,796	2,150	5,694
		ウチモモ	2,160	2,484	2,592	2,430	2,194		2,376	2,487	2,669	2,539	3,376
		シントマ	2,538	2,754	2,899	2,717	3,346		2,484	2,635	2,808	2,643	3,869
		ランイチ	2,430	2,703	2,945	2,719	1,703		2,592	2,611	2,700	2,631	3,515
		ソトモモ	2,106	2,160	2,322	2,168	1,492		2,160	2,376	2,425	2,346	3,755
		スネ	1,566	1,620	1,689	1,611	2,688		1,512	1,581	1,652	1,587	3,433
		モモセット	-	-	-	-	-		2,538	2,726	2,905	2,748	7,385
		セット	3,066	3,184	3,456	3,200	17,426		3,024	3,078	3,186	3,088	46,082
		重量合計							51,927				

乳牛チルド「3等級」		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		
乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,650	2,916	3,240	2,887	3,032	近畿圏	2,284	2,324	3,024	2,493	6,681	
		カタ	-	-	-	-	370		1,755	1,944	2,322	1,963	7,665	
		カタバラ	-	-	-	-	14		-	-	-	-	-	-
		三角バラ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	746
		ブリスケット	-	-	-	-	-		1,296	1,328	1,458	1,329	2,476	
		ヒレ	5,311	5,400	5,726	5,451	1,420		4,860	5,559	5,682	5,375	1,701	
		ロイン	-	-	-	-	768		3,184	3,348	3,920	3,364	2,343	
		トモバラ	1,404	2,708	3,294	2,565	2,544		1,339	1,491	2,152	1,604	3,968	
		ウチモモ	2,052	2,273	2,646	2,276	2,022		1,998	1,998	2,141	2,035	4,870	
		シントマ	2,074	2,100	2,268	2,139	1,482		1,755	1,836	1,944	1,832	2,191	
		ランイチ	1,994	2,100	2,160	2,092	1,469		1,831	1,944	2,106	1,927	2,322	
		ソトモモ	-	-	-	-	477		1,890	2,268	2,970	2,284	2,439	
		スネ	1,512	1,512	1,674	1,531	1,513		1,512	1,566	1,767	1,587	4,040	
		セット	2,808	2,808	2,808	2,808	9,157		1,797	1,868	1,979	1,904	18,919	
重量合計						24,268						60,361		

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 5月16日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 74頭	高値	3,185	2,473	2,256	-	-
		安値	2,251	2,223	2,049	-	-
		平均	2,491	2,307	2,143	-	-
		頭数	43	25	6	-	-
	雌 B 1頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	2,215	-	-	-
		頭数	-	1	-	-	-
	去 A 183頭	高値	3,243	2,542	2,298	-	-
		安値	2,218	2,161	1,836	-	-
		平均	2,516	2,319	2,183	1,935	-
		頭数	137	34	11	1	-
去 B -頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 16頭	平均	-	1,725	1,633	1,545	-
		頭数	-	1	7	8	-
	雌 C 1頭	平均	-	-	1,621	-	-
		頭数	-	-	1	-	-
去 B 32頭	平均	1,742	1,676	1,683	1,554	-	
	頭数	1	3	19	9	-	
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	404 395	804 993	- 257.5	(競り)	(対)	
				-	30	75

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,310	1,695	1,474	1,364	-
	B	-	1,454	1,392	1,194	1,157
和 去	A	2,428	2,227	1,806	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	951	941
	C	-	-	-	936	925
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,648	1,583	1,413	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	1,545	-	1,408	-
	C	-	-	-	1,466	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	785	761	719	670	609
	安値	670	617	599	555	400
	平均	691	649	630	605	516
	頭数	(12)	(287)	(418)	(216)	(60)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 対	高値	-	-	-	-	486
	安値	-	-	-	-	108
	平均	-	690	669	-	401
	頭数	(-)	(5)	(1)	(-)	(24)

[大阪食肉卸売市場] 5月16日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,503	2,242	2,007	-	-
(頭数)	(13)	(13)	(7)	(1)	(-)
B	-	2,143	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(2)	(-)
和 去 A	2,406	2,213	2,128	-	-
(頭数)	(19)	(12)	(1)	(-)	(-)
B	-	2,117	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	2,009	1,903	1,784	1,630	-
C	-	1,745	-	-	-
交雑去 B	-	1,882	1,780	-	-
C	-	1,799	1,767	1,611	-
豚	-	682	650	546	339

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	5月16日	5月15日	(5月累計)
豚	62,800	65,300	654,100
成牛計	4,560	4,080	40,640
和牛雌	1,160	1,040	10,120
和牛去勢	990	1,260	10,700
乳牛雌	700	620	6,320
乳牛去勢	320	400	4,600
交雑雌	700	370	3,930
交雑去	690	390	4,970

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 5月16日

東京	1,635円(前日 1,639円)
大阪	1,780円(前日 1,669円)

[豚・全農建値] 5月16日

上	中	取引頭数	市況
659円	537円	1,123頭	続伸

と畜 売買	牛 74頭	豚 127頭	牛概況	もちあい
	牛 126頭	豚 124頭	豚概況	反落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 5月16日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	605 (605)	- (-)	4,807	-	もちあい
仙台 [中]	626 (626)	562 (598)	557	100	もちあい
栃木 [地]	652 (644)	591 (607)	1,422	22	上伸
茨城 [地]	660 (662)	630 (634)	1,361	537	もちあい
群馬 [地]	633 (666)	584 (593)	1,992	346	反落
さいたま [中]	661 (653)	649 (635)	220	217	続伸
東京 [中]	649 (647)	630 (617)	804	993	もちあい
横浜 [中]	667 (650)	632 (626)	680	684	続伸
山梨 [地]	- (623)	- (598)	72	7	休市
浜松 [地]	※2026年度の市場再編に伴い上場頭数等が減少、4月1日から当面の間豚競り市場は休止				
名古屋 [中]	693 (690)	669 (665)	911	224	もちあい
京都 [中]	636 (671)	635 (642)	34	67	もちあい
大阪 [中]	682 (705)	650 (665)	127	124	反落
神戸 [中]	604 (654)	595 (644)	-	48	-
岡山 [地]	666 (682)	651 (648)	288	269	弱気配
広島 [中]	663 (-)	632 (-)	221	46	急騰
福岡 [中]	662 (638)	635 (609)	437	107	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 5月9日～5月15日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,793,291 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,088	1,175	1,247	1,159	84,955
うで	756	805	833	797	140,763
ロース	1,058	1,134	1,240	1,142	155,328
ばら	1,124	1,176	1,221	1,167	179,288
もも	791	821	845	814	234,724
ヒレ	1,066	1,191	1,296	1,167	9,310
セット	961	1,037	1,071	1,028	988,923

◇近畿圏 総重量 731,518 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,179	1,277	1,350	1,269	57,369
うで	771	799	810	791	124,410
ロース	1,080	1,218	1,297	1,207	104,114
ばら	1,218	1,268	1,325	1,267	125,243
もも	771	789	842	799	166,467
ヒレ	1,188	1,297	1,419	1,313	10,371
セット	941	1,004	1,133	1,027	143,544

[食鳥正肉日経相場] 5月15日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	763	844	1,005	179
ムネ	436	496	638	172

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	774	841	1,030	3
ムネ	435	491	590	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 5月15日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,103	697	550	600	650
安値	798	432	290	360	350
平均	854	494	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強化にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します